

あるので参照してください」などと講習を行った。結果だけを教えるのではなく、どこを調べれば良いのかも一緒に教えるように努めた。



写真-3 座学カリキュラムの様子

3年目の取り組みでは、座学学習内容の①から⑨までの内容すべてを実施することができ、さらに、飛び込み企画が追加されるなど、活発に活動することが出来た。⑨の先輩の失敗事例は若手職員にとって参考になるとともに、先輩方もいろいろ経験（失敗）していることがわかり安心感がわくようである。

回を重ねるごとに、採用1場所目の職員も雰囲気慣れにいき、講師も基本若手職員が行ったので、気兼ねなく参加できたと思われる。

5. おわりに

これまで述べてきた内容は、ある出先事務所の取り組みであるが、県内の他の事務所ではまた違う取り組みが行われている。今後は、各事務所の取り組みが蓄積されてきているので、その中から成功事例を抽出し、県下の全事務所で同じような取り組みができる仕組みが構築されることを望む。

全職員、必ず新規採用の時があり、先輩方に指導してもらった経験があるはずである。

誠意と熱意を持って若手技術職員の育成に今後も取り組んでいきたい。

【著者紹介】 吾郷 慎治 (あごう しんじ)

平成6年度島根県入庁（土木職）。道路、河川、砂防、災害復旧事業等の職務に従事。島根県県央県土整備事務所土木工務第二課長を経て現職。

「2021年度建設系公務員賠償責任保険制度」中途加入受付中！

訴えられたらどうしますか？！



- ・インフラの管理瑕疵で…
- ・入札契約で…

◎ 9月末日現在の加入者は、**4,382名**と昨年の同時期と比べ351名も増加しています。

この保険は、毎月1日付の**中途加入**をいつでも受け付けています（保険料は月割り計算）。

◎ 全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）の「建設系公務員賠償責任保険制度」をぜひ、ご覧下さい！**2021年度新規パンフレット**をご覧ください。インターネットによる**お申し込み**ができます！！ そのほか「よくあるQ&A」も備えています。



＝異動のあった皆様へお願い＝

人事異動等により、地方協会の変更があった場合は、異動先（派遣先）の地方協会において、引き続き全建会員としての入会（継続）手続きを忘れずをお願いします！

また、地方協会や所属など、お申し込み時から変更がありましたら、下記取扱代理店へご連絡ください。

取 扱 代 理 店：建栄サービス㈱ 担当：木村 TEL 03-3291-6340 E-mail: kb-madoguchi@kenei-s.co.jp
引 受 保 険 会 社：東京海上日動火災保険㈱ 担当：公務第一部公務第一課 安斉・今関 TEL 03-3515-4122
団 体 保 険 契 約 担 当：(一社)全日本建設技術協会 担当：会員課 小沢 TEL 03-3585-4546 E-mail: kaiin@zenken.com